

博士論文(要約)

現代中国の医療行政 — 「統制」から「予期せぬ放任」へ—

東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻

学籍番号：25-117015

金 貝

目次

序章	1
第1章 先行研究の把握と本文の趣旨	6
第1節 福祉国家をめぐる議論の展開	6
1. 福祉国家理論	6
2. 福祉国家の変容をめぐる議論	9
3. 東アジア福祉国家論の興起と中国の位置付け	11
第2節 福祉国家から外される中国の社会保障制度に関する研究	14
1. 中国で行われてきた中国社会保障制度研究の概要	15
2. 欧米で展開されてきた中国社会保障制度研究の内容	16
3. 日本で行われる中国社会保障制度研究の流れ	19
第3節 中国の医療制度に関する先行研究の蓄積と限界	22
1. 国内で展開される中国医療制度研究	22
2. 中国の医療制度に関する日本語の先行研究の内容	24
3. 中国の医療制度に対する英語の先行研究の貢献	25
第4節 本稿の趣旨と構成	29
第2章 中華人民共和国建国30年間の医療行政—社会主義の優越性という名のもとに—	33
第1節 計画経済期における医療行政の形成の背景	33
1. 中国社会の「二元構造」の形成と戸籍制度の創設	33
2. 計画経済期の下の経済管理体制の特徴	38
3. 建国初期の社会保障制度の制定と医療保障制度の構造	42
第2節 計画経済期の医療保障制度の三本柱—その内容と特徴を中心に	45
1. 都市部の労働者を対象とする劳保医療制度の形成と変容	46
2. 公務員と職員を対象とする公費医療制度の創設と修正	50
3. 互助共済に基づく農村合作医療制度の形成と普及	54
4. 計画経済期の中国医療保障制度の性格	61
第3節 医療サービス提供の担い手である医療機関の整備	66
1. 建国直後の医療行政組織の設立	66
2. 全国における医療機関の整備	68
3. 都市部と農村部における三級医療衛生ネットワークの形成と内容	70
4. 計画経済期における公立病院の診療報酬制度と財政管理・補償制度	73
5. 計画経済期における公立病院行政の特徴と評価	76
第4節 計画経済期における医薬品の生産と供給	77
1. 建国直後の医薬品行政の形成プロセス	77
2. 中薬の生産と販売—分散経営から集中管理へ	80
3. 西薬の製薬行政と供給行政の成長	86
4. 計画経済期の下の医薬品行政の性格	96
第5節 計画経済期の医療行政の特徴	97
第3章 経済体制の移行に伴う医療行政の変容—「統制」から「予期せぬ」放任へ—	101
第1節 三つの分野における請負制度の適用と社会保障制度改革の要請	101
1. 農家生産請負責任制の追認と普及	102
2. 高度経済成長の序幕—国営企業から国有企業へ	107
3. 新たな医療制度の財政基盤を築く財政制度改革—財政請負制から分税制へ	121

4.	社会保障制度改革の要請と改革の展開	133
第2節	医療「保障」から医療「保険」へー経済体制の移行期における医療保険制度の整備ー	137
1.	医療保障制度改革が要請された背景	138
2.	都市部の医療保障制度改革と城鎮職工基本医療保険制度の創設	142
3.	農村合作医療制度の解体と新型農村合作医療制度の再建/再構築	162
4.	「全民医療保障」を目指して一城鎮居民基本医療保険制度の創設	177
5.	医療保険制度のセーフティネットである医療救助制度の創設	184
6.	市場経済期における医療保険制度の特徴	193
第3節	「予期せぬ放任」の発端ー公立病院に対する統制緩和と反省	205
1.	「停滞の十年」後の医療行政組織の機能回復	206
2.	経済体制の移行期における公立病院改革の展開	208
3.	経済体制の移行に伴う診療報酬制度と財政補償制度の変容	232
4.	市場経済期における公立病院行政の役割転換とその限界	239
第4節	値下げできない中国医薬品市場の謎	243
1.	改革開放時代初期における医薬品行政の秩序回復	244
2.	医薬品制度改革の本格的な展開	255
3.	経済体制の移行に伴う医薬品行政の変容	275
第4章	新たな医療制度改革の限界と本稿の結論	279
1.	「新医改」の発足と限界	279
2.	中国の医療現場の実態：インタビュー調査の結果を踏まえて	288
3.	中国の医療制度改革の限界の解明ー医療行政の変容という視角から	297
4.	まとめと結論	302
	参考文献	306

論文の内容の要旨

医療保障水準の向上は、経済発展のレベルにもかかわらず、各国の共通な課題であると言える。それでは、巨大な人口を抱える中国は、医療保障問題に対して如何に取り組んできたのか。

建国の直後の状況からみると、経済発展の水準が非常に低かったにもかかわらず、社会主義の優越性という名の下で、都市部の賃金労働者がほとんど「無償医療」に近い劳保医療制度と公費医療制度にカバーされる一方、農村住民は、農村合作医療制度に加入することを通して、極めて低い本人負担で医療サービスへのアクセスが保障されていた。結果として、1980年代まで、中国の医療衛生は目覚ましい成果を上げたと言われる。しかしながら、計画経済から市場経済へと経済体制の移行が始まってから、医療制度も漸進的な改革が展開されるようになったが、結局、国民の医療費負担が次第に重くなり、現在では大きな社会問題として世論の関心を呼んでいる。

実際、1980年代から、政府は絶えず医療制度改革に取り組んできたが、結局、薬価の上昇や国民の医療費負担の増大に歯止めをかけることに失敗した。2009年に、新たな医療制度改革が打ち出されたが、その改革の効果も未だに明確に見えていない。それどころか、近年、国民が医療問題に対する不満を公立病院にぶつけるようになり、医療従事者に対する暴力傷害事件は頻発することとなった。この医療紛争の激化から、2009年に発足した新たな医療制度改革（略称、「新医改」）の限界を窺えよう。ここで、中国の医療問題に対して二つの問いが浮上した。すなわち、改革開放時代以来、高度な経済成長が達成されたにもかかわらず、なぜ国民の医療保障水準が逆に計画経済時代より相対的に低下したのか、また、1980年代に打ち出された一連の医療制度改革は、なぜ国民の医療負担の増大に歯止めをかけることができなかったのか、の二つである。

そこで、本稿は、現代中国の医療行政という視角から、中国の医療制度改革の限界を招く原因を解明することをその主旨とする。具体的には、現代中国の医療保障・保険制度、公立病院の管理と医薬品の生産・販売の三つのセクターに注目し、経済体制の移行が行われる前後の医療制度と医療行政の形成と変容を分析することによって、上記の二つの問いに解答を提示した。

本稿の内容について簡潔に述べると、まず、第1章は、先行研究を把握した上で、本稿の主旨について説明した。先行研究に対する把握として、まず、福祉国家理論と呼ばれる一連の議論と東アジア福祉国家論の研究蓄積を分析したことによって、福祉国家に関連する理論における中国の位置付けの難しさ、また、中国と他国の社会保障制度に対して比較研究を行うことの限界を明らかにした。すなわち、福祉国家理論は、主に資本主義経済における先進諸国の社会保障制度について説明しているが、社会主義経済から資本主義経済へ移行する時に、その社会保障制度に何が生じるかという問題を説明することができない。また、近年に登場した東アジア福祉国家論も、経済体制の相違によって中国を分析の対象から外すことが一般的である。次に、中国の社会保障制度に関する研究について把握したが、その大きな限界として、経済体制が移行する前後の社会保障制度の断絶を強調するものがほとんどであり、両者の連続性、あるいは、改革の「漸進的な」性格について十分な注意を払っていないこと、また、現在の社会保障制度改革が難航する原因に対して、十分な説明を行っていないことを指摘することができる。最後に、中国の医療制度に関する先行研究を取り上げて分析した結果、これらの先行研究は医療保障/保険制度に焦点を絞るものが多く、医療システムの各セクター間の相互作用を把握していないという限界を見出した。

これらの先行研究の限界を踏まえて、本稿は、医療システムのうちの三つのセクター、つま

り、医療保障/保険制度、公立病院の管理と医薬品の生産・供給を分析対象として取り上げ、経済体制の移行期における各セクターの制度改革と行政部門の役割転換を分析することによって、現在、中国の医療制度改革が挫折するに至った原因を追究する。まず、第2章は、計画経済期の医療行政が誕生する背景として、建国直後の中国社会の「二元構造」と「統収統支」の经济管理体制について説明した上で、建国してから1998年に城鎮職工基本医療保険制度が創設されるまでの30年の間に、医療保障制度の構成、公立病院を中心とする医療機関の整備と管理、また、医薬品の生産・供給活動の展開について説明し、計画経済期の医療行政の特徴として、「統制」の強さを指摘した。

次に、第3章では、1978年に第11期3中全会が改革開放の路線を採用して以来の、中国の経済体制の移行期における医療制度改革の展開、また、医療行政の役割転換をめぐる議論を展開した。具体的な分析枠組みとして、まず、第1節では、1978年以降、医療保障制度を含む社会保障制度改革を促した社会的・経済的環境として、農業生産、国有企業経営と財政制度の三つの分野に対する「請負制」の導入について分析した。次に、第2節では、医療保障制度改革に注目し、計画経済期の三大医療「保障」制度である劳保医療制度、公費医療制度と農村合作医療制度が、如何なる改革プロセスを経て、市場経済期の新たな三大医療「保険」制度—城鎮職工基本医療保険制度、城鎮居民基本医療保険制度と新型農村合作医療制度へと再編されたのかという問題を解明した上で、新たな医療保険制度の特徴と問題点、また、医療保障/保険の行政仕組みの変容について説明した。

第3節では、文化大革命期の「停滞の十年」を経験した直後の公立病院に焦点を移し、その診療報酬制度と財政補償制度について分析することによって、公立病院改革の「統制緩和」の性格とこれに対する反省について検討した。文化大革命の終了後、医療サービス提供の量的不足を改善するために、公立病院の経営に対する「統制」を緩和する方向へ向かって、公立病院改革が発足した。一方、当時、「兩權分離」を原則とする国有企業改革が実施された結果、中央・地方政府がやがて公立病院の経営赤字を丸抱えすることができなくなったこともあり、請負制などの経済体制改革の手段は、徐々に公立病院の経営管理に取り入れられるようになった。ただし、賃金や物価が低い水準にあったことから、診療報酬基準が低く抑えられたままであった。この結果、公立病院が検査費や薬剤収入を増やすインセンティブを強く植え付けるようになり、「以薬養医」の体質を形成し、「経済組織」へ限りなく接近するようになった。この公立病院の利潤追求の行為は、やがて医療費の高騰を招いたが、2000年頃から、当時まで展開されてきた公立病院改革の「統制緩和」の方針に対する反省が見られると共に、一部の地域で、公立病院を民営化する動きが現れた。この公立病院の民営化の試みは、衛生部門にとって権限縮小につながる懸念材料であることもあり、結局全国へ実施されることに至らなかったが、2005年に入ると、公立病院の「公益性」が新たな改革方針として提起されるようになった。しかしながら、公立病院に対する改革が漸進的に展開されるプロセスにおいて、衛生部門は、公立病院の経営管理に対する関与から撤退する一方で、その診療行為、投薬や診療報酬の徴収などに対して規制と管理を行うことに失敗した。結局、公立病院のパフォーマンスが計画経済期の全般的な「統制」から「予期せぬ放任」へ置かれるようになり、薬価を含む医療費の上昇を招く重要なアクターとなった。

第4節では、中国医薬品市場に注目し、近年、一連な薬価改革が実施されたにもかかわらず、薬価の値下げを実現することができないという謎の解明を試みるために、経済体制が移行してから、医薬品行政の仕組みの変化と医薬品制度改革の展開について分析した。分析の結果、経済体勢の移行に先立って、医薬品行政は、従来のいくつかの行政部門による「多元管理」から、国家医薬管理総局による「一元管理」へという仕組みの移行が実現された。しかし、計画経済期の「政企合一」の行政仕組みが市場経済期にも踏襲されたがゆえに、国家医薬管理総局

が医薬品の生産・販売活動の展開を指導する一方、医薬品市場の秩序を維持するという役割が与えられた。当時、医薬品の生産、販売と価格設定に対する統制が大幅に緩和されたこともあり、医薬品行政の権限が国家医薬総局に高度に集中されるようになった結果、医薬品市場の秩序の混乱と薬価の高騰が招かれたのである。総じて、医薬品制度改革が漸進的に展開された結果、医薬品行政の役割転換の限界によって、医薬品をめぐる巨大な利益団体が出来上がり、薬価の高騰はもはや構造的問題として定着したのである。その証拠として、公立病院の医薬品集中入札購入制度の導入と失敗を挙げることができよう。

最後に、第4章で「新医改」の政策効果について検討した上で、本稿の結論を論じる。第1節では、2009年に発足した、「新医改」の内容と限界について分析する。第2節においては、2013年11月19日から28日に北京市と上海市で行ったインタビュー調査の結果を踏まえて、「新医改」が発足してから、医療現場の実態について説明する。最後に、第3節では、本文の結論を論じ、中国の医療制度改革の限界を解明することを試みる。本稿は要するに、経済体制の移行期において、計画経済期の医療制度や行政仕組みを踏襲しながら、その一部に対して修正を加える形で、中国の医療制度改革は漸進的に展開したと思われる。そこで、市場経済体制の求める方向へ医療行政の役割転換に限界が現れた結果、薬価の高騰や医療保障水準の相対的低下などの構造的問題が生じたことこそ、現在、中国の医療制度改革の限界を解明する鍵であると考えられる。

参考文献

【中国語文献】

- IUD 中国政務景気観測中心「新農合参合率已達 91.05%、北京筹资水平最高」『領導決策信息』第 29 期 (2008 年)
- 殷志静、郁奇虹『中国戸籍制度改革』(中国政法大学出版社、1996 年)
- 殷明「薬費貴の源頭分析和改革对策」『中国衛生經濟』第 10 号 (1999 年)
- 于培明、宋麗麗、岳淑梅「我国藥品集中招標採購存在的制度缺陷」『中国藥物經濟学』第 4 号 (2010 年)
- 衛興華編『中国社会保障制度研究』(中国人民大学出版社、1994 年)
- 王愛文、劉志勇、朱龍翔、趙国君、趙冰、尹力、曾憲樹『編織社会安全網—中国社会保障制度的昨天、今天、明天』(広西示範大学出版社、1998 年)
- 王海光「当代中国戸籍制度形成与沿革の宏観分析」『中共党史研究』第 4 卷 (2003 年)
- 王紅漫『大国衛生之難：中国農村医療衛生現狀与制度改革探討』(北京大学出版社、2004 年)
- 王虎峰『中国新医改：理念与政策』(中国財政經濟出版社、2009 年)
- 王春鳳「藥品價格回扣的現狀及び对策」『北京物価』第 8 号 (1998 年)
- 王東進「医保試点、開局良好—関与城镇居民基本医療保險試点評估情況的報告(節選)」『中国労働保障』第 4 期 (2008 年)
- 王耀忠『藥品價格管制的經濟分析—中国医薬市場の成長之謎』(立信會計出版社、2010 年)
- 郭書田、劉純彬『失衡的中国：農村都市化的過去、現在与未来(第 1 卷)』(河北人民出版社、1990 年)
- 郭書田、劉純彬『失衡的中国』(河北人民出版社、1990 年)
- 葛延風、貢森『中国医改：問題・根源・出路』(中国發展出版社、2007 年)
- 韓良城編著『城鎮職工基本医療保險制度改革実務』(中国人事出版社、1999 年)
- 許秀菊「公立病院補償機制演變的研究」『中国病院』第 13 卷第 6 号 (2009 年)
- 矯秀環「淺談藥品集中招標採購中存在的問題及对策」『中国藥物經濟学』第 1 号 (2013 年)
- 龚翔「基準薄、認知度低、遴選機制不健全—基本医薬市場欠貨、誰之過？」『中国医薬報』2004 年 10 月 14 日 A1 版
- 嚴忠勤編著『当代中国的職工工資福利和社会保險』(中国社会科学出版社、1987 年)
- 嚴良軍「城鎮居民医療保險的行与思」『中国社会保障』第 9 号 (2006 年)
- 顧昕等『診斷与处方：直面中国医療体制改革』(社会科学文献出版社、2006 年)
- 顧涛、單傑、石俊仕、鄭文貴「農村医療保險制度相關問題分析及政策建議」『中国衛生經濟』第 17 卷第 4 号 (1998 年)
- 項懷誠『中国財政 50 年』(中国財政經濟出版社、1999 年)
- 高孝惠「関与藥品購銷中回扣問題的思考与对策」『長春大学学报』第 4 号 (1995 年)
- 国家統計局人口と就業統計司『中国人口和就業統計年鑑 2013』(中国統計出版社、2013 年)
- 左学金、胡蘇雲、謝白羚「中国城市医療保健体制改革：建立成本制約機制和組織創新」徐滇慶、尹尊声、鄭玉歆『中国社会保障体制改革』(經濟科学出版社、1998 年)
- 蔡仁華『中国医療保障制度改革実用全書』(中国人事出版社、1998 年)
- 車明鳳、韓白石「我国頒布實施『国家基本藥物目錄』的概況」『中国薬事』第 14 卷第 1 号 (2000 年)
- 朱恒鵬「医療体制弊端与藥品定價扭曲」『中国社会科学』第 4 卷 (2007 年)
- 朱伯科、邵蓉「我国基本藥物制度實施中的問題及对策」『中国薬業』第 18 卷第 2 号 (2009 年)
- 朱幼棣『大国医改』(世界図書出版公司、2009 年)
- 章劍峰「中国薬価真相調査」『財經文摘』第 11 号 (2006 年)
- 周海洋『職工医療制度改革研究』(1992 年)、

- 邹平『中国职工医疗保健制度改革』(華文出版社、1993年)
- 蒋建華、陽廷鈞「我国藥品差比價規則效果の実証研究」『價格月刊』第4号(2011年)
- 世界銀行『中国：衛生模式轉變中的長遠問題与对策』(中国財政經濟出版社、1994年)
- 成思危編著『中国事業單位改革：模式選擇与分類指導』(民主与建設出版社、2000年)
- 曹景椿「關於『藍印戶口』問題的思考」『人口与經濟』第6卷(2001年)
- 宋士雲『新中国社会保障制度結構與變遷』(中国社会科学出版社、2011年)
- 孫淑雲、柴志凱『新型農村合作醫療制度的規範化与立法研究』(法律出版社、2009年)
- 孫昌友「利用新的藥品加成率計算公式控制藥房的藥品管理」『武警醫學雜誌』第12卷(2001年)
- 譚兵『香港、澳門、内地社会援助比較研究』(北京大學出版社、2009年)
- 中国国家衛生と計画生育委員會『2006年中国衛生統計年鑑』(人民衛生出版社、2006年)
- 中国国家衛生と計画生育委員會『2012年中国衛生統計年鑑』(人民衛生出版社、2012年)
- 中国国家統計局『中国統計年鑑』(中国統計出版社、1997年)
- 中国国家統計局『中国統計年鑑』(中国統計出版社、2003年)
- 中国社会科学院社会学所『2007年：中国社会形成分析と予測』(社会科学文献出版社、2006年)
- 『中国招標』雜誌編集部「集中招標採購緣何成為藥價虛高的『替罪羊』」『中国招標』第27卷(2007年)
- 張愛萍「我国藥品市場的問題所在」『中国藥事』第8卷第4号(1994年)
- 張映光、戴維「藥價之謎」『財經』第26号(2005年)
- 張玉林『轉換期の中国国家と農民 1978~1998』(農林統計協會、2001年)
- 張月玲、肖国金「我国預算外資金的歷史与展望」『財經理論与实践』第2卷(2000年)
- 張左己『領導幹部社会保障地域讀本』(中国労働社会保障出版社、2002年)
- 張翠「從齊二藥到欣弗、有多少悲劇還會再來？」『当代醫學』第9号(2006年)
- 張默、卞鷹「我国醫院藥品價格加成政策的歷史回顧及其影響」『中国衛生事業管理』第229卷(2007年)
- 張録法、黃承「醫療衛生主要改革措置失効原因分析」『甘肅社会科学』第2卷(2008年)
- 趙小劍「藥監局退休官員披露高藥價內情」『北方人』第11号(2006年)
- 趙德余「从国家收購到合同定購買：1985年糧食市場化改革的初次嘗試及其價值」『中国市場』第29卷(2011年)
- 趙曼『农村社会保障制度研究』(經濟科学出版社、2012年)
- 趙曼、劉鑫宏『农民工就业与社会保障研究』(中国劳动社会保障出版社、2010年)
- 陳佳貴編『中国社会保障發展報告(1997-2001)』(社会科学文献出版社、2001年)
- 陳曉莉「從『齊二藥』、『欣弗』等藥害事件分析藥品生產和監管環節存在的問題」『中国藥事』第22卷第10号(2008年)
- 陳駿生『中国改革政策大典』(紅旗出版社、1993年)
- 丁建定ら『社会保障重大項目文庫』(人民出版社、2013年)
- 鄭功成『論中国特色的社会保障道路』(武漢大學出版社、1997年)
- 鄭功成『社会保障概論』(復旦大學出版社、2008年)
- 鄭功成等『中国社会保障制度の変遷と評価』(中国人民大学出版社、2002年)
- 鄭功成編『中国社会保障改革与發展戰略(總論卷)』(人民出版社、2011年)
- 鄭大喜「我国公立醫院財政補償機制的歷史演進与發展趨勢研究」『医学与社会』第25卷第3号(2012年)
- 鄭秉文·和春雷編『社会保障分析導論』(法律出版社、2001年)
- 杜樂勳、鄭先榮「我国醫療收費價格政策的演變与發展趨勢」『中国衛生經濟』第14卷第145号(1995年)

杜樂勳・王培舟『中国医療衛生発展報告』(社会科学文献出版社、2008年)

董志凱編著『1949-1952年中国經濟分析』(中国社会科学出版社、1996年)

董輔祁編著『中華人民共和國經濟史(上)』(經濟科学出版社、1999年)

董青青ら『农村社会保障:制度解读与操作』(中国財政經濟出版社、2013年)

『当代中国』叢書編集部編『当代中国の医薬事業』(中国社会科学出版社、1988年)

『当代中国』叢書編集部編『当代中国的衛生事業(上・下)』(中国社会科学出版社、1986年)

馬勁「試析藥品購銷中給於、收受回扣的成因背景与对策」『中国藥房』第7卷第5号(1996年)

馬富春『医院管理学:後勤管理分冊』(人民衛生出版社、2003年)

範天吉編『中華人民共和國居民身分証法与戶口管理实施手冊(第1卷)』(出版社、2003年)

郝雨「労働保險条例制定二三事」『中国社会保障』(1999年)

潘志明、韓長生「中藥市場必須進一步加強管理」『中国中藥雜誌』第16卷第6期(1991年)

毛小莹「我国中藥市場的現狀及其發展」『中国中医藥信息雜誌』第1卷第1号(1994年)

楊莉、李野、楊立夫「我国医薬行政保護研究」第19卷第19号(2008年)

葉元平「淺談藥品監督中的地方保護主義」『中国藥事』第6卷第8号(1992年)

羅昌平、張映光「鄭筱萸罪与罰」『財經』第183卷第8号(2007年)

<http://finance.sina.com.cn/g/20070418/11223513657.shtml> (2014年3月20日最終アクセス)

李華『中国農村合作医療制度研究』(經濟科学出版社、2007年)

李曉宏「經典廉價藥、病院難找到(廉價藥為何短缺②)」『人民日報』2006年3月29日第11版

李憲法「『看病難、看病貴』与藥品集中招標採購的關係」『科学決策月刊』第1号(2008年)

李鴻敏『新型農村合作医療改革与發展研究:基本統籌城鄉視角』(中国社会科学出版社、2012年)

李作岩「中藥市場赤く管理亟需加強」『價格理論与实践』第4号(1991年)

李立清『新型農村合作医療制度』(人民出版社、2009年)

李玲『健康強国』(北京大学出版社、2010年)

李玲『中国公立医院改革:問題、对策与将来』(社会科学文献出版社、2012年)

李和森『中国農村医療保障制度研究』(經濟科学出版社、2005年)

劉学民『医療保險291問』(人民法院出版社、1998年)

劉国祥、趙郁馨、万泉、高広穎、杜樂勳「中国衛生総費用分配流向測算報告」『中国衛生經濟』第2号(2001年)

劉佐仁、何觀炎「藥品降價效果分析研究」『中国藥業』第15卷第13号(2006年)

劉瑕、禹碩、于潤吉「財政对公立医院補助政策的演變与評価」『衛生經濟研究』第12卷(2008年)

梁鴻「討論中国農村社会保障及其特殊性」『復旦學報社科版』

樓繼偉編『新中国50年財政統計』(經濟科学出版社、2000年)

中国中央人民政府『深化医薬衛生体制改革指導意見(徵求意見稿)』徵求意見情况通報

http://www.gov.cn/gzdt/2008-11/15/content_1150153.htm (2014年3月11日最終アクセス)

北京市發展和改革委員会「北京市医療服務價格查尋」

<http://service2.bjpc.gov.cn/bjpc/mediprice/MedicalService1.jsp> (2014年3月18日最終アクセス)

「政府工作報告修改16处 增加『構建和諧医患關係』」、『中国網』(綜合消息)、2014年3月12日、http://news.china.com.cn/2014lianghui/2014-03/12/content_31762093.htm (2014年3月31日最終アクセス)

「鐘南山代表談医改:走到今天有点走不下去了」、『広州日報』、2014年3月5日、http://news.china.com.cn/2014-03/05/content_31674814.htm (2014年3月28日最終アクセス)

中国医師協会「一三甲医院医生自述:我们迟早累死或被捅死」

<http://www.cmda.gov.cn/zilvweiquan/weiquanzhishi/2013-11-15/12570.html> (2014年3月31日最終アクセス)

中国医師協会「您想改行吗？医生改行指南」

<http://www.cmda.gov.cn/zilvweiquan/weiquanzhishi/2013-11-12/12551.html> (2014年3月31日最終アクセス)

「我国医药工业利润率9.17% 全球前10强达21.3%」

<http://health.sohu.com/20100422/n271686915.shtml> (2014年3月31日最終アクセス)

中国医薬連盟「利润率走低推动医药行业某变」<http://www.chinamsr.com/2012/0526/50986.shtml> (2014年3月31日最終アクセス)

人力資源・社会保障部「2007年全国社会保険情况」

http://www.mohrss.gov.cn/SYrlzyhshbzb/zwgk/szrs/qttjcl/200806/t20080612_66204.htm (2014年3月31日最終アクセス)

田雨、崔清新「国家食品薬品監管局原局長鄭篠萸一審被判處死刑」『新華網』2007年5月29日

http://news.xinhuanet.com/legal/2007-05/29/content_6168200.htm (2014年3月20日最終アクセス)

田雨、李薇薇「経最高人民法院核批准 鄭篠萸10日上午執行死刑」『新華網』2007年7月10日

http://news.xinhuanet.com/politics/2007-07/10/content_6353489.htm (2014年3月20日最終アクセス)

国家發展和改革委員会「2006年我国人均門診費用首次接近零增長、人均住院費用首次負增長」

http://www.ndrc.gov.cn/ajgx/t20070613_140930.htm (2014年3月23日最終アクセス)

【日本語文献】

<資料>

厚生労働省編『海外情勢白書(2001-2002年)』(日本労働研究機構、2002年)

WHO『2013年世界衛生統計報告』

<単行本・論文>

青山光子、佐々木実「中国の医療制度と医学教育」『現代医学』第23巻第2号(1975年)

安達勇「中国の医療制度」『日本医師会雑誌』第98巻第12号(1987年)

新川敏光、井戸正伸、宮本太郎、真柄秀子『比較政治経済学』(有斐閣アルマ、2004年)

飯島渉・澤田ゆかり『高まる生活リスク：社会保障と医療(叢書中国的問題群)』(岩波書店、2010年)

井伊雅子『アジアの医療保障制度』(東京大学出版会、2009年)

石田浩『中国農村の開発戦略—農民は「豊か」になったのか』(関西大学経済・政治研究所、2000年)

伊藤正一『現代中国の労働市場』(有斐閣、1998年)

今井久「中国における医療保障制度改革」『山梨学院大学商学論集』27号(2001年)

于洋「中国の医療保障制度の展開—市場経済と関連させて—」『早稲田経済学研究』第54号(2002年)

于洋「中国の公的医療保障制度の現状と課題」『Int'lecowk』第64巻第11・12号(2009年)

埋橋孝文、于洋、徐栄編著『中国の弱者層と社会保障：「改革開放」の光と影』(明石書店、2012年)

燕秋梅「中国の計画経済期の医療保険制度に関する研究」『流通経済大学大学院経済学研究科論集』第11巻(2003年)

燕秋梅「中国都市部における医療保険制度改革について」『流通経済大学大学院経済学研究科論集』第13号(2005年)

袁麗暉「中国の医療保険制度における医療格差問題」『山口経済学雑誌』第59巻第1・2号(2010年)

袁麗暉「中国農民工の医療保障の現状と問題点—北京市の制度の紹介と分析を中心に」『山口経済学雑誌』第60巻第2号(2011年)

王延中、瀋志漁、杜瑩芬「医療保険制度改革における『両江』モデル」『中国工業経済』第7号(1999年)

- 年)
- 王文亮『21世紀に向けた中国の社会保障』（日本僑報、2001年）
- 王文亮『九億農民の福祉：現代中国の差別と貧困』（中国書店、2004年）
- 王文亮『現代中国の社会と福祉』（ミネルヴァ書房、2008年）
- 王文亮『「全民医療保障」への険しい道—中国版国民皆保険体制の構築について（中）』『週刊社会保障』第2466号（2008年）
- 王文亮『「全民医療保障」への険しい道—中国版国民皆保険体制の構築について（下）』『週刊社会保障』第2467号（2008年）
- 王文亮「中国の農村部における公的医療保険制度の展開に関する考察」『金城学院大学論集・社会科学編』第6巻第2号（2010年）
- 大塚恒雄『中国経済と労働力問題』（白桃書店、1979年）
- 大塚正修、日本経済研究センター編『中国社会保障改革の衝撃：自己責任の拡大と社会安定の行方』（勁草書房、2002年）
- 柯隆「12.5兆円の巨費投じるが 前途多難の医療制度改革」『週刊東洋経済』2009年5月2-9、178-179頁
- 加藤洋子「SARS事件から見た中国の危機管理に関する一考察」『21世紀社会デザイン研究』第7号（2008年）
- 北川博一「中国における社会保障制度：沿革と現状分析(1)-(5)」『中国経済』第393-397号（1998年9月-1999年1月）
- 北川博一「中国における医療保障制度改革の方向—医療提供面からみて—」『中国経済』第395巻（1998年）
- 許珠海「中国国有企業の社会保険制度改革について：養老保険、医療保健、失業保険改革を中心に」『海外社会保障情報』第120巻（1997年）
- 桑澤秀武「中国農村の医療制度改革」『亜細亜大学大学院経済学研究論集』第32号（2008年）
- 巖善平『シリーズ現代中国経済2 農民国家の課題』（名古屋大学出版会、2002年）
- 呉紅敏「中国の社会保障制度における医療保障（1）」『大阪府立大学経済研究』第48巻第3号（2003年）
- 呉紅敏「中国の社会保障制度における医療保障（2）」『大阪府立大学経済研究』第48巻第4号（2003年）
- 呉紅敏「中国の社会保障制度における医療保障（3）」『大阪府立大学経済研究』第49巻第1号（2003年）
- 康懷宇、葉子成「中国の医療制度」『東アジアの少子化と高齢化対策に関する日本、韓国及び中国の3ヵ国比較研究』（国際長寿センター、1996年）
- 孔子『論語・季氏第十六篇』
- 小嶋正己『中国社会主義労働の研究』（評論社、1972年）
- 小島麗逸編著『中国の都市化と農村建設』（龍溪書舎、1978年）
- 佐々木岳「中国医薬品市場の実際と開発戦略について」『Pharm stage』第2巻第6号（2012年）
- 澤田ゆかり「拡大する医療格差と医療保険の課題」『日中経協ジャーナル』第210巻（2011年）
- 澤田ゆかり「社会保障制度の新たな課題—国民皆保険体制に内在する格差への対応」大西康雄編『中国習近平政権の課題と展望—調和の次に来るもの』（アジア経済研究所、2013年）
- ジェフリー・ギャレット「グローバル市場と国家の政治」河野勝、竹中治堅編『アクセス国際政治経済論』（日本経済評論社、2002年）、210-213頁
- 柴田拓巳「中国の医療保険制度について」『厚生労働』（2011年4月）、43-44頁
- 沙銀華「中国農村部の医療保険制度」『日中医学』第24巻第3号（2009年）

- 謝海棠「中国高齢者の社会保障制度の整備について—医療制度改革と医療格差を中心に」『金城学院大学大学院文学研究科論集』第117巻第96号（2010年）
- 朱思琳「財政改革と中央政府の新たな役割—積極的な財政政策の実施と社会保障制度の構築—」田多英範編著『現代中国の社会保障制度』（流通経済大学出版社、2004年）
- 朱珉「中国における医療保険制度の形成過程」『経済学論纂』第45巻第3・4号（2005年）
- 周晴「城郷医療救助発展現状及対策研究」『法政与社会』第32期（2011年）
- 正田豊「中国の医療用医薬品市場推移とメーカーの戦略」『国際医薬品情報』第11巻第15号（2008年）
- 徐林卉「中国医療救助制度の創設とその問題点」『立命館国際研究』第19巻第1号（2006年）
- 末廣昭編著『東アジア福祉システムの展望—7 ャ国・地域の企業福祉と社会保障制度』（ミネルヴァ書房、2010年）
- 袖井孝子、陳立行編著『転換期中国における社会保障と社会福祉』（明石書店、2008年）、21-23頁
- 田多英範編著『現代中国の社会保障制度』（流通経済大学出版社、2004年）
- 張英莉「新中国の戸籍管理制度（上）—戸籍管理制度の成立過程—」『埼玉学院大学紀要（経営学部篇）』第4号（2004年）
- 張燕妹「中国における高齢者の社会保障—養老保険制度と医療保険制度を中心に—」『社会学論叢』第140巻第3号（2001年）
- 張紀濤『現代中国社会保障論』（創成社、2001年）
- 趙永生「中国の低所得者医療救済制度—任重くして道遠し」『日中医学』第24巻第3号（2009年）
- 姚嵐、陳麗「中国城郷救助面臨的問題及び対策」『中国衛生政策研究』第1号（2008年）
- 陳琨「中国医療制度における財源構造と給付水準」『鹿児島国際大学大学院学術論集』第2号（2011年）
- 津上俊哉「中国地方財政制度の現状と問題点—近似の変化を中心に—」『RIETI Discussion』（2004年）
- 塚本隆敏「中国における医療保険制度の現状と諸問題」『中京商学論叢』第49巻第1号（2002年）
- 塚本隆敏「中国の農村における医療保障制度の現状」『中京企業研究』第25号（2003年）
- 塚本隆敏「中国における医療保険制度改革は何故失敗したか」『中京企業研究』（27、2005）
- 塚本隆敏『中国の国有企業改革と労働・医療保障』（大月書店、2006年）
- 『当代』中国叢書編集部編『当代中国的衛生事業（上・下）』（中国社会科学出版社、1986年）
- 内藤二郎「中国の財政制度と政策—改革・開放30年の変遷と課題（特集 中国経済—アメリカ発世界金融危機を踏まえて）」『フィナンシャル・レビュー』第4巻（2009年）
- 中江章浩「中国医療保障制度の概要」『健康保険』第50巻第3号（1996年）
- 中江章浩『21世紀の社会保障』（第一書房、1998年）
- 中兼和津次「特集：中国の社会保障改革と企業行動」『海外社会保障情報』No.132（2000年）
- 中兼和津次『シリーズ現代中国政治1 経済発展と体制移行』（名古屋大学出版社、2002年）
- 西村幸次郎編著『現代中国法講義』（法律文化社、2001年）
- 日本労働協会編『中国の労働事情：対外開放政策と日系企業』（日本労働協会、1987年）
- 林毅夫ほか『中国の国有企業改革』（日本評論社、1999年）
- 林毅夫、蔡昉、李周『中国の経済発展』（日本評論社、1997年）
- 広井良典、駒村康平編著『アジアの社会保障』（東京大学出版社、2003年）、10-12頁。
- 広井良典、瀋潔編著『中国の社会保障改革と日本—アジア福祉ネットワークの構築に向けて—』（ミネルヴァ書房、2007年）、4-5頁。
- 方暘「中国における都市部医療保険制度の展開」『人間文化』第18巻（2005年）
- 三浦有史、「中国の医療格差と医療制度改革—経済成長の持続性を問う—」、『環太平洋ビジネス情報RIM』、2009年第9巻第33号
- 南亮進『中国の経済発展—日本との比較』（東洋経済新報社、1990年）
- 箕田健生「中国の医学・医療制度の現況（その1）」『眼科臨床医報』第67巻第9号

- 宮本太郎『福祉国家という戦略—スウェーデンモデルの政治経済学』（法律文化社、1999年）
- 真野俊樹「中国の医療現場と薬剤」『国際医薬品情報』第38巻第41号（2011年）
- 守屋洋「中国における合作医療制度の展開」『国際社会保障研究』第18巻（1976年）
- 熊大艶「中国農村医療保険制度の現状と問題点」『地域公共政策研究』第19巻（2011年）
- 楊輝、王斌「『中国農村衛生服務筹资和農村医生報酬機制研究』シリーズ報告（1）—問題的提出和研究背景」『中国初級衛生保健』第7号（2000年）
- 楊開宇、坂口正之「都市部と農村部の二重構造の下における中国農村部の医療保障制度の変容」『生活経済学研究』第22・23号（2006年）
- 吉田治郎兵衛『中国新医療衛生体制の形成—移行期の市場と社会』（東方書店、2010年）
- 羅曉娟「中国における農村合作医療制度の変遷と今後のあり方」『中央大学大学院研究年報・総合政策研究科篇』第9号（2006年）
- 羅曉娟『中国における医療保障制度の改革と再構築』（日本僑報社、2011年）
- 羅小娟「中国における農村合作医療制度の変遷と今後のあり方」『中央大学大学院研究年報総合政策研究科篇』第9巻
- 李宜、「中国の医療と農村の光と影—各種調査結果からみる新医療制度改革の現状と課題—」、『横浜国際社会科学研究所』、第16巻第6号（2012年）、43（613）頁
- 李蓮花「中国の医療保険制度改革—経済体制改革との関連を中心に—」『アジア経済』第44巻第4号（2003年）
- 劉曉梅「市場経済体制下の社会主義中国の医療保障制度改革」『賃金と社会保障』第1246号（1999年）
- 劉曉梅「中国における医療保障制度の改革」『海外社会保障研究』第130巻（2000年）
- レーニン『レーニン全集（第17巻）』（大月書店、1956年）

【英語文献】

- Ahmad, E., Li, K., Richardson, T., and Singh, R., Recentralization in China? IMF Working Paper, No. 02/168, 2002
- Bloom, G., and Xingyuan G., Health Sector Reform: Lessons from China. *Social Science & Medicine* 45 (3), 1997, pp.351-360.
- Boeri, T., *Structural Change, Welfare Systems, and Labour Reallocation: Lessons from the Transition of formerly planned economies*, Oxford University Press, 2000, pp.105-153.
- フランシス・G・キャッスルズ（岩本敏夫ほか訳）『福祉国家論—オーストラリア、ニュージーランド』（啓文社、1991年）
- Chen, A., Liu, G. G., and Zhang, K. H., eds., *Urbanization and Social Welfare in China*, Ashgate, 2004, pp.11-105.
- Chen, C. C., Bunge, F. M., *Medicine in Rural China: A Personal Account*, University of California Press, 1989
- Childs, M. W., *Sweden: the Middle Way on Trial*, Yale University Press, 1980, pp.15-42.
- Cornia, G., Andrea, Juha Honkkila, Renato Panicia and Popov, V., *Long-Term Growth and Welfare in Transitional Economies: the Impact of Demographic, Investment and Social Policy Changes*. World Institute for Development Economics Research, United Nations University, 1996.
- Deyo, F. C., "State and Labor: Modes of Political Exclusion in East Asian Development," in Deyo, F. C., ed., *The Political Economy of the New Asian Industrialism*, Cornell University Press, 1987, pp.182-201.
- Deyo, F. C., "The Political Economy of Social Policy Formation: East Asia's Newly Industrialized Countries," in Appelbaum R. P., and Henderson H., eds., *States and Development in the Asian*

- Pacific Rim, Sarge, 1992, pp.289-305.
- G・エスピン-アンデルセン (岡沢憲英、宮本太郎監訳) 『福祉資本主義の三つの世界—比較福祉国家の理論と動態』 (ミネルヴァ書房、2001年)
- G・エスピン-アンデルセン (埋橋孝文監訳) 「黄金時代の後に?—グローバル時代における福祉国家のジレンマ」 エスピン-アンデルセン編『転換期の福祉国家—グローバル経済下の適応戦略』 (早稲田大学出版会、2003年)、16-23頁
- Estevez-Abe, M., Iversen, T., and Soskice, D., “Social Protection and the Formation of Skills: A Reinterpretation of the Welfare State,” in Hall, P. A., and Soskice, D., eds., *Varieties of Capitalism: The Institutional Foundations of Comparative Advantage*, Oxford University Press, 2001, pp.180-183.
- Ferdinand, P., and Gainsborough M., eds., *Enterprise and Welfare reform in communist Aisa*, Frank Cass, 2003, pp.10-96.
- Finer, C. J., ed., *Social Policy Reform in China: Views from Home and Abroad*, Ashgate, 2003
- Frazier, M. W., *Socialist Insecurity: Pensions and the Politics of Uneven Development in China*, Cornell University Press, 2010
- ミルトン・フリードマン、ローズ・フリードマン (西山千秋訳) 『選択の自由—自立社会への挑戦』 (日本経済新聞社、1980年)
- Goodman, R., and Ito P., “The East Asian Welfare States: Peripatetic Learning, Adaptive Change, and Nation-Building,” in Esping-Andersen G., ed., *Welfare States in Transition: National Adaptations in Global Economies*, Sage Publication, 1996, pp.192-216. (R・グッドマン、イト・ペング「東アジア福祉国家—逍遥的学习、適応性のある変化、国家構築」G・エスピン-アンデルセン編 (埋橋孝文監訳) 『転換期の福祉国家—グローバル経済下の適応戦略』 (早稲田大学出版会、2003年)、225-259頁)
- Graham, C., *Safety Nets, Politics and the Poor: Transitions to Market Economies*, Brookings Institution, 1994.
- フリードリヒ・A・ハイエク (西山千明訳) 『隷属への道』 (春秋社、1992年)
- Hillier, S. M., and Jewell, J. A., *Health Care and Traditional Medicine in China, 1800-1982*, Routledge & Kegan Paul, 1983
- Ho, L. S., Market Reforms and China’s Health Care System, *Social Science & Medicine* 41 (8), 1995, pp.1065-1072.
- Holliday, I., “East Asian Social Policy in the Wake of the Financial Crisis: Farewell to Productivism?,” *Policy and Politics* 33(1), 2005, pp.145-162.
- Holliday, I., “Productivist Welfare Capitalism: Social Policy in East Asia,” *Political Studies* 48(4), 2000, pp.706-723.
- Holliday, Ian and Paul Wilding eds., *Welfare Capitalism in East Asia: Social Policy in the Tiger Economies*, Palgrave Macmillan, 2003, pp.161-162 (イアン・ホリデー、ポール・ワイルディング編 (埋橋孝文ほか訳) 『東アジアの福祉資本主義—教育、保健医療、住宅、社会保障の動き』 (法律文化社、2007年)、182-191頁) .
- Hsiao, W. C. L., *The Chinese Health Care System: Lessons for Other Nations*. *Social Science & Medicine* 41 (8), 1995, pp.1047-1055.
- Hsiao, W. C., Transformation of Health Care in China. *The New England Journal of Medicine* 310 (14), 1984, pp.932-936.
- Hu, S., Tang S., Liu Y., and Zhao Y., Maria-Luisa Escobar and David de Ferranti, Reform of How Health Care is Paid for in China: Challenges and Opportunities. *Lancet* 372 (9652), 2008,

- pp.1846-1853.
- Iversen I., and Wren A., "Equality Employment, and Budgetary Restraint: The Trilemma of the Service Economy," *World Politics* 50, 1998, pp.544-546.
- Iversen, T., "The Dynamics of Welfare State Expansion: Trade Openness, De-industrialization, and Partisan Politics," in Pierson, P., ed., *The New Politics of Welfare State*, Oxford University Press, 2001, pp.45-79.
- Jessop, B., *The Future of the Capitalist State*, Polity, 2002.
ノーマン・ジョンソン（青木郁夫、山本隆監訳）『グローバリゼーションと福祉国家の変容—国際比較の視点』（法律文化社、2002年）
- Jones, C., "Hong Kong, Singapore, South Korea and Taiwan: Oikonomic Welfare States," *Government and Opposition* 25(4), 1990, pp.446-462.
- Jones, C., "The Pacific Challenge: Confucian Welfare State" in Jones, C., ed., *New Perspectives on the Welfare State in Europe*, 1993, pp.198-215.
- Kaser, M., *Health Care in the Soviet Union and Eastern Europe*, Croom Helm, 1976
- Korpi, W., *The Working Class in Welfare Capitalism: Work, Unions, and politics in Sweden*, Routledge and Kegan Paul, 1978.
- Kwon, H., "An Overview of the Study: The Developmental Welfare State and Policy Reforms in East Asia." In Kwon H., ed., *Transforming the Developmental Welfare State in East Asia*, Palgrave Macmillan, 2005, pp.1-20.
- Kwon, H., "Welfare Reform and Future Challenges in the Republic of Korea: Beyond the Developmental Welfare State?," *International Social Security Review* 56(4), 2002, pp.23-28.
- Lampton, D. M., *Health, Conflict, and the Chinese Political System*. (Michigan Papers in Chinese Studies: No.18.), Center for Chinese Studies, University of Michigan, 1974
- Leung, J. C. B., and Nann, R. C., *Authority and Benevolence: Social Welfare in China*, Chinese University Press, 1995, p.159-167.
- Liu, Y., Hsiao W. C. L., Li Q., Liu X., and Ren M., *Transformation of China's Rural Health Care Financing*. *Social Science & Medicine* 41 (8), 1995, pp.1085-1093.
- Liu, Y., Hsiao, W. C. L., and Eggleston K., *Equity in Health and Health Care: the Chinese Experience*. *Social Science & Medicine* 49 (10), 1999, pp.1349-1356.
- Lu, A., *A Review of Welfare Changes in Asian Transitional Economies*, World Institute for Development Economics Research, United Nations University, 1997.
- Manow, P., "Comparative Institutional Advantages of Welfare State Regimes and New Coalitions in Welfare State Reforms," in Pierson, P., ed., *The New Politics of the Welfare State*, Oxford University Press, 2001, pp.146-164.
- Mares, I., *The Politics of Social Risk: Business and Welfare State Development*, Cambridge University Press, 2003.
- Milanovic, B., *Income, Inequality and Poverty during the Transition*, Research Papers, No.1, March, Transition Economics Division, Policy Research Department, World Bank, 1996.
- ジェイムズ・Ｒ・オコナー（池上惇、横尾邦夫監訳）『現代国家の財政危機』（御茶の水書房、1981年）
- Offe, C., *Contradictions of the Welfare State*, Hutchinson, 1984.
- Office of the World Health Organization Representative in China and Social Development Department of China State Council Development Research Center, *China: Health, Poverty and Economic Development*, December 2005.
- Orlowski, L. T., *Transition and Growth in Post-Communist Countries: the Ten-year Experience*,

- Edward Elgar, 2001.
- クリストファー・ピアソン（田中浩、神谷直樹訳）『曲がり角にきた福祉国家—福祉の新政治経済学』（未来社、1996年）
- Pierson, P., *Dismantling the Welfare State? : Reagan, Thatcher, and the Politics of Retrenchment*, Cambridge University Press, 1994.
- カール・ポラニー（野口建彦、栖原学訳）『大転換—市場社会の形成と崩壊（新版）』（東洋経済新報社、2009年）
- Ramesh, M. and Xun Wu, *Health Policy Reform in China: Lessons from Asia*. *Social Science & Medicine*, 68(12), 2009, pp.2256-2262
- Ramesh, M., and Wu X., *Health Policy Reform in China: Lessons from Asia*. *Social Science & Medicine* 68 (12), 2009, pp.2256-2262.
- Shue, V., and Wong, C., eds., *Paying for Progress in China: Public Finance, Human Welfare and Changing patterns of inequality*, Routledge, 2007
- Titmuss, R. M., *Essays on the Welfare State*, George Allen and Unwin, 1958, pp.42, 50-53（R・M・ティトマス（谷昌恒訳）『福祉国家の理想と現実』（東京大学出版会、1979年）、25-43頁）。
- Twohey, M., *Authority and Welfare in China: Moern Debates in Historical Perspective*, Macmillan, 1999, pp.151-159.
- UNICEF, *Crisis in Mortality, Health and Nutrition*. *Economies in Transition Studies*, No.2, UNICEF International Child Development Centre, 1994.
- UNICEF, *Poverty, Children and Policy: Responses for a Brighter Future*. *Economic in Transition Studies*, No.3, UNICEF International Child Development Centre, 1995.
- UNICEF, *Public Policy and Social Conditions*. *Economies in Transition Studies*, No.1. UNICEF International Child Development Centre, 1993.
- United Nations, *World Population Prospect: The 2012 Revision*, United Nations, Department of Economic and Social Affairs, 2013.
- Wagstaff A., et al., *Reforming China's Rural Health System*, World Bank, 2009.
- Wang, M., Zhang S., and Wang, X., *WTO, Globalization, and China's Health Care System*, Palgrave Macmillan, 2007
- White, G. G., "Social Security Reform in China: Towards an East Asian Model?" in White, G. G., and Kwon, H., eds., *The East Asian Welfare Model: Welfare Orientalism and the State*. Routledge, 1998.
- ハロルド・L・ウィレンスキー（下平好博訳）『福祉国家と平等—公共支出の構造的・イデオロギー的起源』（木鐸社、1984年）
- WHO, *Primary Health Care: The Chinese Experience: Report of an Inter-regional Seminar*, WHO, 1983.
- Wilson, *Urbanization and Social Welfare in China*, Ashgate, 2004.
- Wilson, P., *Economic Policies and Social Welfare in the 21st century: Challenges and Responses for China and Thailand*, Cengage Learning Asia, 2009, pp.125-166.
- Wong, C., Lo, V. l., and Tang, K., *China's urban health care reform: from state protection to individual responsibility*, Lexington Books, 2006
- Wong, L., and Macpherson S., *Social Change and Social Policy in Contemporary China*, Avebury, 1995
- World Bank, *China 2020, Issues and Options for China: Financing Health Care*, World Bank, 1997
- World Bank, *Financing Health Care: Issues and Options for China*. (China 2020 series), World Bank,

- 1997.
- World Health Organization, *The World Health Report 2000: Health System: Improving Performance*, p.152.
- World Institute for Development Economics Research*, United Nations University, 1996.
- Boeri, *Structural Change, Welfare Systems, and Labour Reallocation: Lessons from the Transition of formerly planned economies*, Oxford University Press, 2000
- Yip, W. C., and Hsiao W., Qingyue Meng, Wen Chen and Xiaoming Sun, Realignment of Incentives for Health-care Providers in China. *Lancet* 375 (9720), 2010, pp.1120-1130.
- Yip, W. C., Hsiao, W. C., Chen W., Hu S., Ma J., and Maynard A., Early Appraisal of China's Huge and Complex Health Care Reforms, *Lancet* 379 (9818), 2012, pp.833-842.
- Yip, W., and Hsiao W., China's Health Care Reform: A Tentative Assessment. *China Economic Review* 20, 2009, pp.613-619.
- Yip, Winnie and William Hsiao, China's Health Care Reform: A Tentative Assessment. *China Economic Review*, 20, 2009, pp.613-619
- Chinese Doctors are under threat, *The Lancet* 376 (9742), 28 August 2010